

東南アジア研究所

I 研究水準 研究 30-2

II 質の向上度 研究 30-2

I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 研究活動の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究の実施状況については、当該研究所の経常研究の成果として、科学研究費補助金、グローバル COE プログラムの採択にいたっている。また、国際共同研究機関として、理学的研究においても相応なレベルの成果があると推測されるが、提出された現況調査表の内容では読み取れない。研究資金の獲得状況については、科学研究費補助金の基盤研究（S）が 2 件、基盤研究（A）が 1 件、グローバル COE プログラムが 1 件と活発な研究活動が展開されるなどの相応な成果がある。

以上の点について、東南アジア研究所の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、東南アジア研究所が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 研究成果の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究成果の状況」について、学術面では、小規模の研究所でありながら東南アジアを中心とした活発な活動が行われていることは高く評価できる。卓越した研究業績としては、バングラデシュ農村開発の中の階層変動の研究が上げられる。社会、経済、文化面では、フィールド医学的研究手法により、地域住民の保健福祉に貢献している。これらの状況などは、相応な成果である。

以上の点について、東南アジア研究所の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、東南アジア研究所が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は4件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。